
お手軽600字エッセイ その6

北原誠二

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お手軽600字エッセイ その6

【Nコード】

N1900D

【作者名】

北原誠二

【あらすじ】

グローバリゼーションはアメリカニゼーション？

グローバリゼーションといわれて何年かたちます。国際化そういう意味なのかもしれません。

地球は狭くなった。便利になった。それは確かなことです。

昔、そんな話をカナダ人としていたときおもしろいことを言いました。

「グローバリゼーションはアメリカナイゼーション（アメリカ化）だよ。いつか崩壊するときがくる。アメリカ人はマクドナルドとスターバックス、ビザカードで世界を支配しようとしているんだ。そのうち弁護士まで輸出してくるよ。」

そのときはおもしろいな。そんな風に考えました。

僕はそれほど深刻ではありませんでした。が、10年立ってみてこの言葉を思い出すとちよつと恐ろしいです。

確かにアメリカからファーストフードが入ってきて便利に早く食事ができるようになりました。

それにビザカードで買い物もできるし時代は確かに便利になっています。

ただ、早く便利になって幸せをより感じられるようになったのか？僕には分かりません。

今、カナダ人の友達はいいます。

「日本人には技術がある、電子マネーや液晶テレビ。そうゆう強さをずっと保っていないと、カナダのようにアメリカの植民地状態に

なっちゃっよ。これ以上奴らのまねばかりしてたら貧乏人が生まれるよ。」

実際、そのとおりになってきているような感じがします。

ふーん。彼のいうことは100%正しいとは思えませんでしたがとても考えさせられました。

格差社会と勝ち組、負け組。訴訟社会。

それが世界の流れというなら仕方がないかもしれません。

ただ、映画「ALWAYS」なんかを見ているとそろそろ日本のいいところを探してもいいのではないかと考えさせられました。

みなさんはどう思われますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1900d/>

お手軽600字エッセイ その6

2010年11月21日02時41分発行